

2014年5月19日
株式会社ジュピターテレコム

**プロ野球中継 読売ジャイアンツ主催公式戦全試合を外出先でもリアルタイム視聴
『ジャイアンツ LIVE ストリーム』を「J:COM Xvie」で提供開始！**

— 放送中の番組をスマートフォン・タブレットでいつでもどこでも楽しめる —

株式会社ジュピターテレコム（以下J:COM、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：牧 俊夫）は5月25日から、J:COMの多チャンネルサービス「J:COM TV」で提供中の「日テレG+ HD」で放送している読売ジャイアンツ主催公式戦の中継をスマートフォン・タブレットでリアルタイム視聴できるサービスを開始します。（サービスブランド名『ジャイアンツLIVEストリーム』）

「J:COM TV スタANDARD」*¹にご加入のお客さまは「J:COM Xvie(クロスヴィ)」アプリ*²を利用して、追加料金なしで読売ジャイアンツ主催公式戦全試合の中継を視聴できるようになります。

「J:COM Xvie」は、インターネットに接続できる環境であれば、外出先や移動中、スタジアムで試合を観戦しながらなど、いつでもどこでも番組視聴を楽しめるサービスです。スマートフォン・タブレットに「J:COM Xvie」アプリをインストールし、J:COM IDでログインすることで利用できます。

J:COMは、昨年末にスマートテレビサービスの提供を開始したほか、スマートフォンやタブレットとの連動強化を図っています。一連の施策を通じて“新しいテレビの見方、楽しみ方”を積極的にお客さまに提案し、多チャンネルサービスの視聴促進につなげる方針です。今後も、マルチデバイスでコンテンツが視聴できる環境整備に注力し、「J:COM Xvie」アプリを通じて、多チャンネルコンテンツや「J:COMオンデマンド」の番組視聴機会を拡大していきます。

*¹ 旧称 J:COM TV デジタル

*² J:COM TVで放送中の番組や、J:COMオンデマンドをマルチデバイスで視聴できるアプリです。iOS、Androidに対応しています。スマートフォン・タブレット向けには従来、「J:COMオンデマンド」をマルチデバイスで視聴できる「Xvieビデオ」と、J:COM TVで放送中の一部番組をマルチデバイスで視聴できる「Xvieライブ」の2つのアプリを提供していましたが、これらの機能をまとめ、4月1日から新たに「J:COM Xvie」アプリとして提供しています。



©NTV



日テレG+プロ野球中継「Dramatic Game 1844」
菅野智之選手 2014 ©Yomiuri Giants

<参考資料>

■ 配信予定について

球団名	配信対象の試合	放送チャンネル	配信開始日
読売ジャイアンツ	主催公式戦 全試合	日テレG+ HD『ジャイアンツLIVEストリーム』 *3	2014年5月25日

*3「ジャイアンツLIVEストリーム」は、日本テレビと読売新聞が運営する、プロ野球読売ジャイアンツの主催公式戦全72試合などをライブストリーミング配信しているインターネットサービスです。

■ 「J:COM Xvie」を利用したリアルタイム番組視聴について

対象サービス	J:COM TV スタンダード ※「Smart TV Box」の場合は利用不可
料金	追加料金なし
対象デバイス	iOS/Androidのスマートフォン、タブレット

■ 「J:COM Xvie」アプリについて

- ・2014年4月1日以前に旧「Xvieビデオ」アプリをインストール済みの方は、アプリのUpdateにより、放送中の番組も視聴できるようになります。
- ・2014年4月1日以前に旧「Xvieライブ」アプリをインストール済みの方は、「J:COM Xvie」を新たにインストールしていただく必要があります。
- ・4月より新機能「アラーム予約」がスタートしました。番組詳細画面から予約登録しておく、放送開始時刻にアラーム（Push通知）がくるので、見逃すことはありません。

詳細はこちらをご覧ください。 <http://xvie.jcom.co.jp/view/>

ジュピターテレコムについて <http://www.jcom.co.jp/>

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州エリアの31社70局を通じて約500万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約1,919万世帯です。番組供給事業においては、17の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。

※ 上記世帯数は2014年3月末現在の数字です。2013年12月に連結化したJCNグループについても、2014年3月末の数字を単純合算しています。